



中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
1999年7月4日

今月の予定

委員会	7月 4日
サロンレジオ	7月 11, 25日 7月9,16,23日

委員会だより

<6月6日(日) 10名出席>

【1】財務報告：99年5月度決算報告(甲斐さん)
(単位:円、括弧内数字は99年度年間予算)

	当月収入	当月支出	99°収入累計	99°支出累計
一般会計	396,814	419,404	3,699,640 (6,367,268)	2,593,976 (6,267,268)
建設会計	111,000	0	3,302,812 (3,245,476)	0 (2,873,000)
愛の献金	24,050	45,450	630,941 (861,749)	86,550 (520,000)
信徒預金	0	0	191,673 (841,673)	9,702 (680,000)

特記事項：特になし。

【2】議題：

- (1) 横浜教区第5地区福音宣教委員会報告 今年度第一回例会 5/16開催(七浦さんより)
(来月号掲載予定)
- (2) 「青年の集い」のご案内(別項参照) 大自然の中で「祈り」を体験してみませんか。7/17~7/21 北海道 灯台の聖母トラススト大修道院にて
- (3) 湘南短期セミナー来年度開催担当引き受けの件 甲斐さんより泉区公会堂と地区センターへの打診結果報告があった。両方とも種々の理由で不可能なことがわかった。とりあえず来年については、お断りし、中和田なりのやり方を模索することとした。
- (4) 6月29日 山崎神父様霊名の祝日にあたり、例年どおり霊的花束を贈る。
締め切り日:6月20日、典礼委員が取りまとめ、七浦さんに作成依頼することにした。
- (5) 5月16日 壮年会席上での小谷さんの提案について
① 2000年の献堂記念日に向け、前庭のマリア像修復の募金活動をしてはどうか。⇒ 昨年補修塗装をしたことでもあり、しばらく様子を見ることにした。
② 泣き部屋を整備して小聖堂にしてはどうか。⇒ 婦人会大水さんのご寄付により、祭壇、十字架、ろうそくなど設置した。さらに、整理整頓をすすめ、小聖堂として活用を図りたい。
- (6) 梅村司教叙階式に参列した報告が阿部さんからされた。素晴らしい式で、特に浜尾大司教様が感激されていたのが印象的であった。
- (7) 第5地区2000大聖年に向けての行事 中和田教会として何をするのか、継続して考えていくことにした。
- (8) 献金袋収納ラック設置場所変更について 適当な場所が他にないことから、現状のままとし、あ行があふれているため、分割することにした。
- (9) 聖歌の集いとその後にかかれた委員による反省会について、石井さんから報告があった。
- (10) 事務所クーラー修復を今週行う。費用は二十万円ほど。
- (11) 6月19日(土)10時より今年度第一回バザー委員会を開く。



壮年会だより

<6月20日(日) 10名出席>

- 1. 聖堂内折りたたみ椅子修理実施
6月の例会では聖堂内の私たちが座っている椅子の修理を出席者全員で実施しました。献堂以来の折りたたみ椅子は傷みが激しく、座面と足の溶接部分が剥がれてしまっていて、座面が浮き上がってしまうものが60脚ほどありました。時間の都合と錆付きのためボルトが外れず修理完了に至らなかった一部を残して、作業を終えました。未修理の椅子は早い機会に修理する予定です。とりあえず、緑色のテープでマーキングしてありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 2. 壮年会石井三雄さん書き下ろしエッセイ「光と風の回想」出版
定年を迎える頃になると、だれでも過ぎ越して来た軌跡を振り返って、自分史なるものを書き残しておきたい衝動に駆られるもの。しかし、これが一筋縄ではいかない。たいていは、挑戦はするものの、途中で放り出してしまふ。
たとえ、自分なりにまとめてみても、せいぜい自費出版がほとんど、出版社が製作販売のルートに載せてくれるなんて、テレビでお目にかかるような人ならいざ知らず、夢のまた夢。そんなすごいことをわたしたちの身近におられる石井さんが実現してしまうなんて。
さっそく、購入して読んでみました。最後まで、一気に読んでしまうほど、心の中に溶け込んでいく、お人柄そのものの暖かさに包まれていくような文章でした。出版社がとりあげるのもむべなるかな。まだお読みでない方には是非、読まれることをお勧め致します。(文芸社発行1,400円+税)



婦人会だより

<6月20日(日) 37名出席>

- 委員会報告
- バザーについて
 - 皆様にご討議頂いた結果下記のようなメニューに決定致しました。(正式決定は7月18日バザー委員会後)
 - ・カレー ・おでん
 - ・ぜんざい ・ケーキと紅茶
 - 保健所のご指導等により基本的にはバザー当日に調理することになりました。皆様のご協力宜しくお願い致します。
 - 抽選券の賞品用に、ビール券、図書券、テレホンカード等必要としています。ご協力頂ける方は、8月31日までご寄付下さいませようお願いします。
 - 7月18日、例会後にリサイクルショップを開催致します。ぜひ、お立ち寄り下さい。役員一同お待ちしております。
- 神父様の霊名のお祝い に例年どおり図書券を差し上げることになりました。

次回例会は7月18日(日)、次回当番はC地区です。



遠い道②

山崎正俊



使徒たちは言う。イエズス様の求めていらっしゃることは、御父の聖旨を果たすことであり、お互いが思いやりふかく、ありつづけることです。仲よくしなさい。—あの都の近くのお山をお開きになりながら、「忘己利他」と、御仏のお慈悲に伏し徹されたお方の、たいせつな教えと同じです。—鹿児島での、四百五十年ほどまえの対話。印度を経て渡来された「大日」を拜まれるお方の問い掛け、「あの坊さん達は、あのようにお坐りで、何をしておられるのですか」に、「あのようにして、頭をまるめている者がえらいのなら、擬宝珠は覚りを開いた達人でありましょう。道を求めて、ろくでもない妄想にでもふけておるのですか」と方丈様は、ぬけぬけと答えておられる。誰でも生命のに与え主に従う者こそ、まことに生きる者です。

己のためではなく、他の人のために奉仕することこそ、心掛けねばならぬこと。あのイエズス様は、御父の聖旨のためにこそ、さきに、他の人のことにご苦心なさったのでしょ。 「暗いと言うまえに、すすんで明かりをつけましょう」「そこに飢えた人がいるということは、私が自分のことを考えすぎてわけてあげてあげたことをしなかったからです」

この四月十五日(土曜日)の正午頃から、ラファエル梅村司教様の叙階と、横浜教区長としての着座式がおこなわれました。年取ったせいばかりではなく、横浜教区司祭の一人ですから、その記念写真には加えていただけたのですが、祭壇の側近くにいっても、ほとんど何も、聞きとれませんでした。

現教皇が教会の責任者として、いまに続く教会の名によつての犯罪傾向に、公の場で いろいろと謝っておられるということ、聞いているのですが、イエズス様の教えの、いちばん大切なところでは、教会にも一致に乱れが見えるのだそうです。教風の浮き沈み、長年の間にも改められない、日常的な恐ろしげなシキタリが、まだ抜け切れていないところなど、びっくりしただけではすみませぬ。老年のせいなのか、つまらぬことが気になるものです。あの「死者のためのミサ」のうちにある大切な祈りには、いまだに、洗礼を受けていない人は抜かされているのです。

それでも、私はそこに、毎日、補っているのです。その信仰と善意という言葉。イエズス様のことを、よく知らされなかった祖先たちのために、その死後の平安のために祈るのは、イエズス様のことを知らされている子孫たちのなすべきことのはずです。

公教要理のなかでは、洗礼を受けていなくても、それを望んでいるなら、よい教えには必ず従いますという善意があるなら、救いから外されることはない、教えられている。

或る地方では、その子孫たちが祈りつづけているなら、祈られている人はその祈りの恵みを、まえて受けるという信仰があるのです。そればかりではありませぬ。或る病氣や障害を持っている人は汚れ多き者として拒まれているのに、そんなことがあるものか、イエズス様はその人たちの救いと「なおし」のためにこの世においでになったのだと伝えられている。—「えらそうなのが話せなくてもかまいません。その思いやりの心によって、行いなさい」—これこそ、イエズス様の御スガタ、そのモハン。

(1999. 5. 21)

開かれた教会

石井 三雄

「そこで何をしていますか。すぐに出ていきなさい。!」

この教会の主任司祭に叱責されたカメラマンは、驚き、大慌てで入り口に向かった。そして入り口のところでカメラを落とした。カメラは硬いみかげ石の床に落ちて壊れた。裏蓋があいてフィルムは露光した。

長男の結婚式の撮影を頼まれたプロのカメラマンは式が終わった後、めったにないチャンスと思ったのだろう、誰も居ない聖堂を撮影していたときの出来事である。

長男は自分たちも、私が洗礼を受け、そして結婚式と披露宴を行った、同じ教会での挙式を希望した。

私は家内と長男を伴い、久しぶりに東京の実家の近くにある教会を訪れた。92年、向夏の頃だった。

教会の中庭にたつとその当時の神父様や青年会の懐かしい思い出が甦ってきた。しかし、その当時お世話になった神父様方は既に帰天されている。

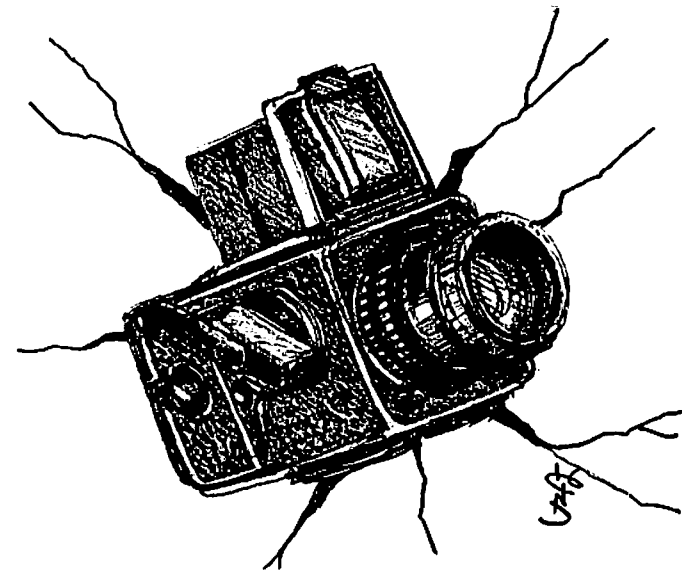
主任司祭は不在だったが、応対にでた若い神父様は親切にこちらの相談に対応してくれた。

挙式に立ち会って戴いたのはこの神父様だった。

やがて同じ敷地の中にあるホールで披露宴がはじまった。まさに宴もたけなわになった頃、この教会の関係者の方から「主任司祭から、夕方のミサに、この教会の信者の車が入ってくるので、駐車している車の移動と披露宴も切り上げるように」との督促を受けた。

これには披露宴のほうで混乱した。主任司祭に現状を説明し、もう少し延ばしてもらえないかとの願

いも空しく、来賓の祝辞も割愛せざるを得なくなり、なんとも慌ただしい披露宴となってしまった。



当時、公会議のテーマに「開かれた教会」というのが掲げられていた。

それから久しいが、その間に教会は何かが変わったのだろうか。

少なくとも私には、それは感じられない。それは、つまり「開かれた」とは教会に通う信者のためではなく、未信者に対してであり、そして、これが一番重要な事だが、教会と一般信者の双方で心掛け、努力しなければ永遠に成就しないテーマだと思われるからである。

毎年この時期になると必ず思い出される出来事である。しかし、これは経年とともに希釈されていくのが判るが、カメラが壊れたために長男夫婦の結婚式の記念写真が存在しないという事実はわからない。

ミサ当番表 (99年7、8月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
7/4	年間第十四主日	壮年会	森田	8/1	年間第十八主日	壮年会	森田
7/11	年間第十五主日	青年会	大宮	8/8	年間第十九主日	青年会	大宮
7/18	年間第十六主日	婦人会C地区	岩淵	8/15	聖母の被昇天	婦人会D地区	岩淵
7/25	年間第十七主日	壮年会	美底	8/22	年間第二十一主日	壮年会	美底
				8/29	年間第二十二主日	婦人会D地区	森田

※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原:TEL 802-6258)



「一粒会第五地区集会」に出席して

岩崎 好愛

去る5月23日(日)、標記集会が藤沢教会であり、参加してきました。

今回の講師は東京教区の粕谷甲一神父様、テーマは『“呼びかけ”の根拠を求めて、大聖年を前に日本とその教会をどこに』でした。それに、各小教区代表によるパネルディスカッションも行われました。

聖堂いっぱいの人々と共に与ったミサでしたが、ミサが終わったら大半の人が帰ってしまい、まず少々拍子抜けしました。関心が薄いのでしょうか、それとも周知不足?

『(司祭召命の)ピンチの現実をはっきり見つけ、そこからチャンスを見出すこと』を菌に衣を着せずに語りたくてと始められた粕谷師は、「今私たちがピンチをピンチとみなしていないところにピンチがあるのです。改心とか信徒を増やすといった目に見える成果を求めることではなく、現在の教会に起きている現象に気がつかないでいることに問題があるのです」とおっしゃって、いくつかの現実の例を挙げ、「今、日本の教会には魂の躍動がありません。魂の躍動の中に希望を見出す若者を育てることに信徒の司祭職があるのです」と結ばれました。

粕谷師は、マザー・テレサの生き方にも度々触れられ、マザーが修道会の繁栄のためではなく、異教の人々にも心に向けた宗教を超えてのmissionaryに徹したこと、それは二つの聖体拝領(一つはミサを通して、そしてもう一つは関わる人々を通して)を糧として実行されたことを述べられ、「日本のピンチは、この二つの聖体拝領の意義を分離したところにあるのではないだろうか。‘ちまた’に出ていってください。これのないところには召命はありません。聖霊の光で心をクリアにして、何をすべきかを探りましょう」と話されていました。

私たちも、「若者が教会に来ない」「司祭の召命の実りがない」と嘆く前に、一人一人が二つの聖体拝領を通して「祈りつつ仕え、仕えつつ祈る」生活を大切に、実践していくこと、魂を躍動させることが先決だと思いました。

環境コーナー

町田 保子

食品用ラップが使われ始めて以来、今ではなくてはならない存在になっています。

パッケージをよく見ますと、「ダイオキシンが発生しません。無添加ポリエチレン使用」と書いてあるものがあります。更に小さな文字で「このフィルムを燃やしても塩素系ガスが発生しないポリエチレンを使用しています」

また切り口には、「紙の刃ですから使用後、焼却ゴミとして処分できます」

「このパッケージは再生紙を使用しています」「再生率80%」等と書いてあります。

この地球にやさしいラップを実際に使ってみますと、薄くてフワツとして器にはりつきにくいのです。併し、他の有力メーカーのラップは器によくはりつき、使い心地がとても良いのですが、「無添加」とは書いてありませんでした。

大自然の中で「祈り」の体験をしませんか ～「青年の集い」のご案内～

恵まれた自然に囲まれた北海道トラピスト大修道院で数日を過ごしてみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 1999年7月17日(土)夕食(PM.5:30)より
21日(水)朝食(AM.7:00)まで
場所 北海道 灯台の聖母トラピスト大修道院
指導 高橋 重幸 神父
対象 カトリック青年男子(15名程度)
費用 宿泊費・食費は不要です。(4泊5日)
(持参は、聖書、洗面具、作業服だけで結構です)

お問い合せお申し込みは、
〒049-0283 北海道上磯郡上磯町字三ツ石392
灯台の聖母トラピスト大修道院(JR渡島当別駅下車)
高橋 重幸 神父様まで
TEL 0138(75)2139 Fax 75-3222

(毎年夏期に開きますので、今年都合の悪い方は来年どうぞ。その他の季節にも個人懇話も可能ですので、ご連絡下さい。)

お知らせ

結婚

99.6.27 11:30 於 聖母の園聖堂
アロイジオ 武田 光信
渋谷 ひとみ

転居

テレジア 大水 チヨノ
245-0016 泉区和泉町3480-1 セントラルヒルズ202
TEL (045)804-6420